

第二次小平市のスポーツ振興の基本方針

【検討資料】

平成28年度
小 平 市

目 次

はじめに（基本方針の策定にあたって）	1
第1章 小平市のスポーツ振興の基本方針の概要	2
1. 基本方針策定の趣旨	2
2. スポーツ振興に関する国や都、小平市の動向.....	2
3. 基本方針の位置づけ	3
4. 対象期間	3
5. 本基本方針におけるスポーツの意義	4
6. 基本方針策定に関わる視点.....	4
第2章 スポーツ振興の現状と課題	5
1. 小平市のプロフィール	5
2. 小平市のスポーツ環境	6
3. 小平市民のスポーツに関する市民意識	9
4. これまでの小平市のスポーツ施策の進捗状況.....	14
5. 小平市のスポーツ振興の課題.....	15
第3章 小平市のスポーツ振興の基本方針.....	18
基本方針の体系と取組項目	19
基本方針1 だれもがスポーツに親しめる環境の整備	20
基本方針2 スポーツ推進に関わる人財の育成.....	21
基本方針3 スポーツの場と機会の整備・充実.....	22
基本方針4 情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供	23
基本方針5 スポーツを通じた地域づくり	24
基本方針6 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応	25
第4章 基本方針の推進にあたって	26
1. 推進体制	26
参考資料	27
1. 方針策定の経緯.....	27
2. アンケート調査概要	29

はじめに（基本方針の策定にあたって）

平成21年度に策定した小平市のスポーツ振興の基本方針（以下「前期基本方針」という。）は、小平市体育協会の法人化、市民総合体育館の指定管理者制度の導入、FC東京と市との事業連携などの課題を明示し、小平市体育協会への支援や体育指導員（現スポーツ推進委員）及び体育協会加盟団体の育成など、平成27年度までの市のスポーツ振興の基本的な考え方を示したものでした。

今後は、平成23年制定のスポーツ基本法及びスポーツ庁の創設による新たなスポーツ行政、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを見据え、市としてもさらなるスポーツの振興を図る必要があります。

よって、これまでの市の取組実績や国や東京都の動向を踏まえ、第二次小平市のスポーツ振興の基本方針を策定しました。

第1章 小平市のスポーツ振興の基本方針の概要

1. 基本方針策定の趣旨

平成21年度に策定した前期基本方針は、「小平市第3次長期総合計画—こいだいら21世紀構想・前期基本計画」(以下「長期総合計画」という。)に基づき、平成27年度までのスポーツ振興に関する基本的な考え方を示したのですが、昨年度に計画年次が終了したことから、前期基本方針を発展的に承継しつつ、スポーツ基本法の施行及び2020年東京オリンピック・パラリンピックなどスポーツを取り巻く状況変化、並びに国、東京都の動向を受け、第二次小平市のスポーツ振興の基本方針(以下「基本方針」という。)を本市におけるスポーツ振興の新たな指針として策定するものです。

2. スポーツ振興に関する国や都、小平市の動向

(1) 国や都の動向

平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に基づき、国は平成24年3月に「スポーツ基本計画」を策定しています。「スポーツ基本法」では、「スポーツ権」の確立が掲げられたほか、スポーツの多面的な役割として、青少年の健全育成、地域社会の再生、社会・経済の活力創造などが挙げられています。「スポーツ基本計画」では、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」を目指す姿として示しています。

また、平成27年10月には、スポーツの振興その他のスポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを任務とするスポーツ庁が設置され、文部科学省や厚生労働省など複数の省庁が担っていた役割、施策を総合的に調整し、政策を推し進めていくこととされています。

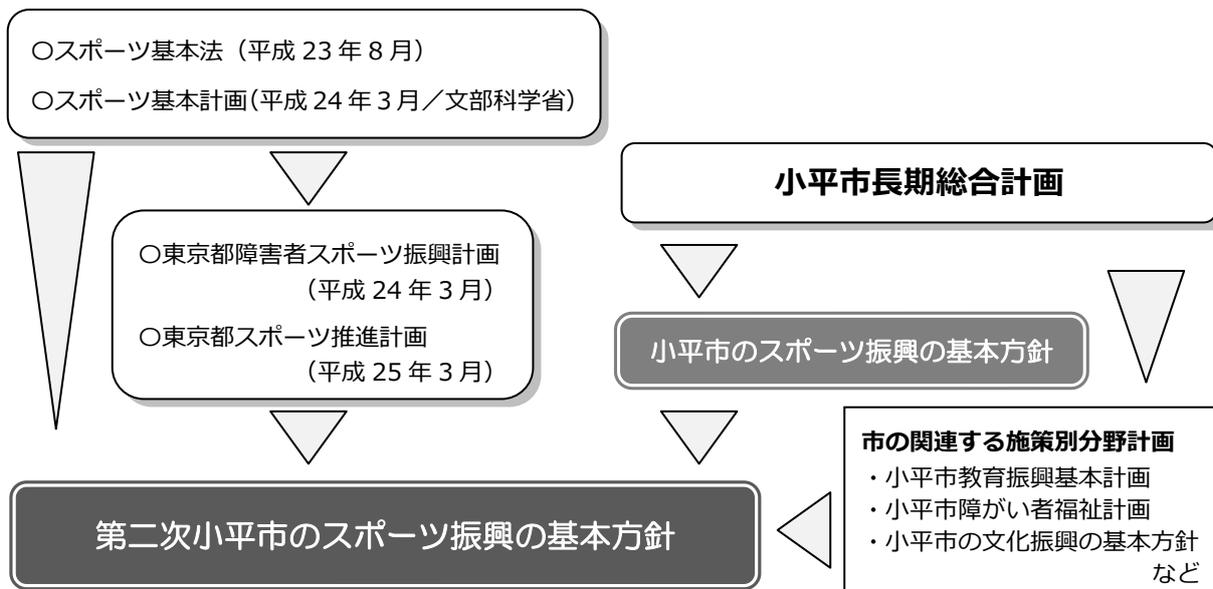
東京都は、平成24年3月には、障がい者スポーツの振興を見据え、障がいのある人もない人も、だれもがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指した「東京都障害者スポーツ振興計画」を策定しています。また、平成25年3月には平成20年に策定した「東京都スポーツ振興基本計画」を改定し、『「スポーツの力を すべての人に」—誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する『スポーツ都市東京』を実現—』を基本理念とした「東京都スポーツ推進計画」を策定しています。

(2) 小平市の動向

小平市においても、近年は健康志向の高まりもあって生涯スポーツが盛んであり、市内の体育施設はスポーツ愛好者の健康増進の場として、また多くの人々の健康づくりや生涯学習、レクリエーション活動などの場として、地域における人々の多様な活動を支えています。

3. 基本方針の位置づけ

本基本方針は、スポーツ基本法第10条第1項に準拠して策定するもので、「小平市長期総合計画・後期基本計画」に基づき、市のスポーツ振興に関する基本的な考え方を示し、今後のスポーツ振興の指針として位置づけます。



4. 対象期間

本基本方針の対象期間は、平成29年度から平成32年度までの4年間としています。

第二次小平市のスポーツ振興 の基本方針	H29	H30	H31	H32
	→			
<参考> 主な国際スポーツ大会	平昌冬季 オリンピック・ パラリンピック		ラグビー ワールドカップ	東京 オリンピック・ パラリンピック

5. 本基本方針におけるスポーツの意義

小平市では、健康志向の高まりもあってスポーツや健康づくり、生涯学習、レクリエーション活動など地域において市民の様々な活動が盛んに行われています。

今後も、スポーツが市民の生活に より身近なものとなっていくためには、運動やスポーツに関心がなかった人も日常的に身体を動かし、市民の誰もが気軽に楽しむことができるよう、スポーツの概念を幅広く捉えることが大切だと考えます。

このことから、本基本方針では、スポーツを競技スポーツだけではなく、健康づくりなど目的を持った身体活動の全てをスポーツとして扱います。さらに市民のスポーツの関わりには、スポーツ観戦などの「観る」スポーツ、ボランティアとしてスポーツ大会の運営などに携わる「支える」スポーツも含まれます。

6. 基本方針策定に関わる視点

スポーツ振興に関する国や都等の動向をふまえ、今後の小平市民のスポーツ活動を振興していくためには、以下のような視点が求められると考えています。

視点	方向性
ライフステージに応じた生涯スポーツの振興	子育て・働き盛り世代の運動不足による生活習慣病等への対応や高齢者の介護予防、心身の健康維持への対応など、市民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。
子どもの体力向上	子どもの遊びの場の減少、運動やスポーツをしない子どもの体力低下への対応など、学校や地域と連携して子どもの体力向上の取組を推進します。
障がい者スポーツの振興	障がいのある方の運動機会の創出や障がい者スポーツ、アダプテッド・スポーツ※2 普及への対応など、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを推進します。
スポーツを支える人財※1・組織の充実	多様な市民のスポーツ活動とそれらを支援する人財の育成やボランティア制度のしくみ、また関係団体や NPO 等との連携・協働を推進します。
スポーツの環境の整備とまちづくり	公共のスポーツ施設だけでなく、民間のスポーツ施設や歩道・公園等、市民の生活に身近な場所でも運動やスポーツに親しめる環境づくりを推進します。
地域スポーツの推進 (トップスポーツとの交流含む)	多世代間の交流事業など、多くの市民が参加しやすい事業を展開し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を推進します。
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした市民の運動やスポーツへの興味・関心の向上、スポーツを通じた異文化への理解を促進します。

※1 「人材」の意味を発展させて、「人」＝財産と捉えています。

※2 一人一人の発達状況や身体条件に適應させたスポーツという意味。

第2章 スポーツ振興の現状と課題

1. 小平市のプロフィール

(1) 位置及び地勢

小平市は、東京都の多摩地域の武蔵野台地上にあり、都心の西方26キロメートルのところに位置しています。市域の東側は西東京市、南側は小金井市と国分寺市、西側は立川市、北側は東久留米市、東村山市及び東大和市と接しており、比較的平坦な地形が特徴となっています。

市域は、東西約10キロメートル、南北約4キロメートル、面積は20.51平方キロメートルであり、多摩地域の26市中10番目の広さとなっています。

市内には7つの鉄道駅があり、JR武蔵野線、西武拝島線、西武国分寺線、西武多摩湖線、西武新宿線が通っています。新宿まで約30分で結ぶことなどから、都心部のベッドタウンとしての性格を有しています。

玉川上水、野火止用水など過去から受け継がれてきた豊かな自然環境に恵まれ、それらを生かした小平グリーンロード(市内一周緑道)があり、市民の散歩道として親しまれています。

(2) 人口及び世帯数

小平市の人口は、年々増加傾向にありますが、人口減少や超高齢化が進んでいく中で減少に転じていくものと想定されます。

	平成27年 (速報値)	平成22年	増減数
人口(人)	190,245	187,035	3,210
世帯数	82,994	81,784	1,210
1世帯当たりの人員(人)	2.29	2.29	0
65歳以上人口(高齢化率)	22.7%※	20.0%	2.7ポイント

(「平成27年国勢調査」より)

※世界保健機構(WHO)及び国連定義では、高齢化社会7%、高齢社会14%、高齢社会21%

2. 小平市のスポーツ環境

(1) 市内の公共スポーツ施設

グラウンド	5か所	萩山公園グラウンド、大沼グラウンド、天神グラウンド、中央公園グラウンド、小川西グラウンド
テニスコート	3か所	上水公園テニスコート、中央公園テニスコート、天神テニスコート
屋外プール	2ヶ所	萩山公園プール、東部公園プール
市民広場	4ヶ所	小川町二丁目市民広場、福祉会館前市民広場、花小金井南市民広場、花小金井四丁目市民広場
武道館	1ヶ所	花小金井武道館
総合体育館	1ヶ所	市民総合体育館
子どもキャンプ場	1ヶ所	きつねつばら公園子どもキャンプ場

■ 施設位置図



(2) スポーツ振興事業(大会、イベント)

- ・小平グリーンロード歩こう会等歩く事業 3事業
- ・市民スポーツまつり
- ・少年少女マラソン大会、こだいら市民駅伝大会
- ・ニュースポーツデー
- ・運動会

(3) スポーツ教室等の実施

- ・トップアスリートによるランニング教室
- ・水泳ワンポイントレッスン
- ・カヌー体験教室
- ・市民体育祭(体育協会加盟団体による競技会)など

(4) スポーツを支える人、クラブ及び団体

①スポーツ推進委員

2016年●●月時点で、21名(男性:9名、女性:12名)の方が活動しています。

②スポーツボランティア

2016年●●月時点で、登録者数76名(男性:38名、女性:38名)の方が活動しています。

③小平市体育協会加盟の団体(32団体)

2016年●●月時点で、32団体が加盟しています。

体育協会加盟団体			
軟式野球	剣道	卓球	陸上競技
ソフトテニス	柔道	バレーボール	スキー
バドミントン	サッカー	空手道	弓道
居合道	水泳	テニス	ラジオ体操会
合気道	婦人軽体操	ソフトボール	ゲートボール
アーチェリー	少林寺拳法	バスケットボール	ライフル射撃
ダンススポーツ	バウンドテニス	武術太極拳	ラグビーフットボール
ゲートゴルフ	ゴルフ	ターゲットバードゴルフ	ミニテニス

(加盟順)

3. 小平市民のスポーツに関する市民意識

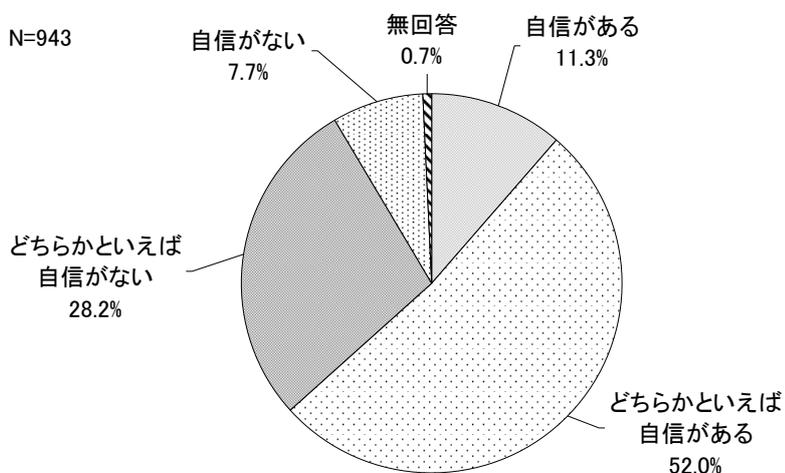
(1) 市民の体力の現状

① 市民意識調査

■ 体力

市民の体力についての現状をみると、「どちらかといえば自信がある」が最も多く52.0%、ついで「どちらかといえば自信がない」が28.2%となっています。

「自信がある」「どちらかといえば自信がある」の合計は63.3%となっています。



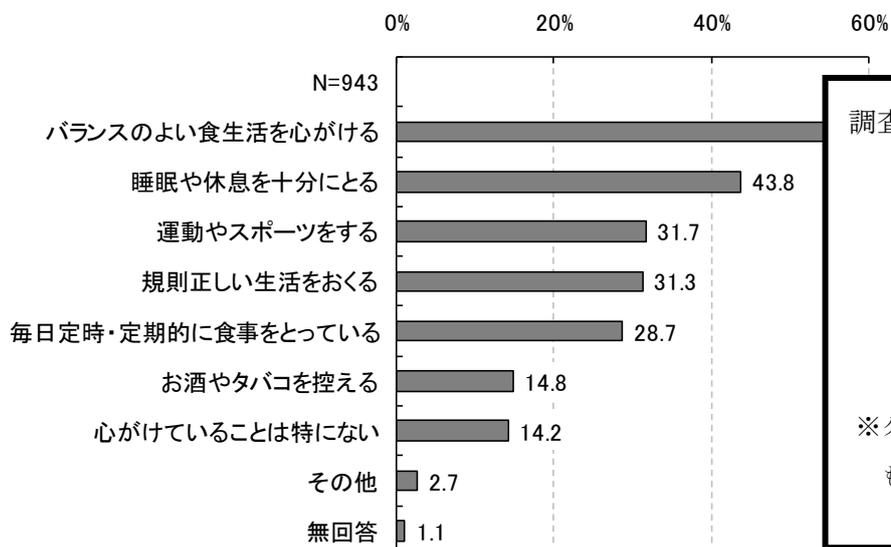
調査結果（単数回答）
の掲載イメージ

※グラフは今回の調査の
ものではありません

（平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケートより）

■ 健康を保つために心がけていること

日頃、健康を保つために心がけていることについては、「バランスのよい食生活を心がける」が最も多く54.4%、ついで「睡眠や休息を十分にとる」が43.8%、「運動やスポーツをする」が31.7%となっています。



調査結果（複数回答）
の掲載イメージ

※グラフは今回の調査の
ものではありません

（平成28年度小平市民のスポーツに関するアンケートより）

②子どもの体力調査

(2) スポーツの実施状況

(3) スポーツに関する情報提供

(4) スポーツに関するボランティア

(5) 障がい者スポーツの認知度

(6) 市のスポーツ推進

(7) 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会

4. これまでの小平市のスポーツ施策の進捗状況

(1) 小平市第三次長期総合計画の取り組み状況

小平市第三次長期総合計画・前期基本計画の「生涯スポーツの推進」の分野に掲げられた計画事業と進捗状況は以下のとおりとなっています。

■施設事業

計画事業	進捗状況
① 小学校校庭への夜間照明設置の検討	未実施
② プレイパーク設置の検討・実現	小川町一丁目に設置済

■非施設事業

計画事業	進捗状況
① 体育施設の計画的維持管理の実施	継続中
② 八ヶ岳山荘の今後のあり方の検討	平成 24 年施設廃止
③ 総合型地域スポーツクラブの育成	未実施
④ 生涯スポーツを支える人材育成やボランティアのしくみづくり	継続中
⑤ 関係団体や NPO 団体等との連携・協働	継続中
⑥ 公共施設予約システムの導入	平成 18 年度導入済
⑦ 東京国体開催に向けての準備	実施済

(2) 小平市のスポーツ振興の基本方針の取り組み状況

小平市のスポーツ振興の基本方針に掲げられた施策の進捗状況は以下のとおりとなっています。

施策	進捗状況
① 小平市体育協会の法人化	平成22年4月～
② 市民総合体育館の指定管理者制度の導入	平成27年4月～
③ FC 東京と市との事業連携	平成22年～
④ 小平市体育協会への支援	平成22年～
⑤ スポーツ推進委員及び体育協会加盟団体の育成	平成21年～

5. 小平市のスポーツ振興の取り組みと課題

これまでの小平市におけるスポーツに関わる施策の進捗状況やスポーツを取り巻く動向、市民のスポーツ活動や環境の現状をふまえ、以下の6点に課題を整理しました。

課題案 1. だれもがスポーツに親しめる環境づくりに向けた取り組みと課題

市では、親子や高齢者などの各世代に合わせた体操教室や健康づくり教室などのスポーツ教室を実施しています。さらに、歩け歩け会や市民駅伝など7事業について、平成27年度の参加者総数は6,812人でした。

また、隣接した市が設置する屋内体育施設については、市民が相互に利用することができます。

市民の運動やスポーツの実施状況(週1回スポーツ実施率)を見ると、●●(アンケート結果を参照予定)●●となっています。運動やスポーツの時間が取れない方や苦手な方に対して、体力や年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツに親しめる環境づくりが求められています。

- | | |
|---|--|
| <input type="radio"/> 超高齢社会の到来(都) | <input type="radio"/> 子供・若者の体力低下(都) |
| <input type="radio"/> 障がい者スポーツの認知度向上(都) | <input type="radio"/> スポーツレクリエーション活動の変化(都) |
| <input type="radio"/> … | |

(★)：新たな課題 (◆)：継続的な課題 (都)：東京都スポーツ推進計画の課題

課題案 2. 人財育成に向けた取り組みと課題

市では、スポーツを支える市民ボランティアを育成する機会として、障がい者へのサポートをテーマにスポーツ指導スキルアップセミナーを開催し、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを支援しました。また、スポーツ推進委員は、市が実施するスポーツ・レクリエーション事業の企画・運営や実施への協力、市民スポーツ活動への指導・助言などを行いました。

社会環境の変化や多様化する市民のニーズに対応するためには、市民の運動やスポーツ活動を支える人財の育成・支援が重要です。また、これまで培われてきたスポーツ推進委員をはじめとするスポーツ指導者や小平市体育協会等の団体の人財・組織力を今後も活かしていくための連携・協働体制の充実が求められています。

- | | |
|---|--|
| <input type="radio"/> スポーツ指導者の育成・支援(◆) | <input type="radio"/> スポーツ推進委員の支援(◆) |
| <input type="radio"/> 小平市体育協会加盟の団体への支援(◆) | <input type="radio"/> スポーツ関係団体の連携・協力(★) |
| <input type="radio"/> スポーツボランティア活動の推進(◆) | <input type="radio"/> 障がい者の余暇活動支援への人的整備(★) |
| <input type="radio"/> … | |

(★)：新たな課題 (◆)：継続的な課題 (都)：東京都スポーツ推進計画の課題

課題案 3. スポーツのための場の整備・充実に向けた取り組みと課題

市では、学校施設スポーツ開放事業を行っており、スポーツ団体開放については、ニーズの多様性から利用希望団体が年々増加しています。また、スポーツ個人開放について健康志向の高まりも後押しして卓球、バドミントン、バウンドテニスに平成27年度延べ 5,956 人の利用者がありました。

市民の運動やスポーツ活動は、スポーツ施設だけでなく●●(アンケート結果を参照予定)●●様々な場所で行われています。今後も市民の多様な運動やスポーツ活動を支えるためには、学校体育施設の有効活用や民間事業者との連携・協力を推進していくことが求められています。

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 公共施設の有効活用(◆) | <input type="radio"/> 学校体育施設等の有効活用(◆) |
| <input type="radio"/> スポーツが苦手な人のためのきっかけの場づくり(◆) | <input type="radio"/> 民間事業者との連携・協力(★) |
| <input type="radio"/> 小平グリーンロードの整備、活用(ウォーキング、ランニングなど)(◆) | |
| <input type="radio"/> 歩行者や自転車利用者を大切にされた道路空間の確保(★) | |
| <input type="radio"/> … | |

(★)：新たな課題 (◆)：継続的な課題 (都)：東京都スポーツ推進計画の課題

課題案 4. 効果的な情報発信・提供に向けた取り組みと課題

市でのスポーツ情報の発信は、市報こだいら、市ホームページ、体育協会ホームページ及び募集ちらしを公共施設に配架することを中心に発信・提供しています。また、小学生向けのスポーツ事業の募集ちらしについては、教育委員会の協力により、全員配布をしています。

多様化する市民の運動やスポーツ活動を支えるために情報技術を活用し、施設利用の利便性の向上やそれぞれのニーズにあった情報提供に取り組むことが大切です。また、これまで運動やスポーツを行う機会が少なかった市民は●●(アンケート結果を参照予定)●●を求めていることがわかります。

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供(★) | |
| <input type="radio"/> スポーツ施設利用方法の周知(◆) | <input type="radio"/> スポーツ関係団体の連携・協力(★) |
| <input type="radio"/> 健康や介護予防などの個別計画との関係性(◆) | <input type="radio"/> … |

(★)：新たな課題 (◆)：継続的な課題 (都)：東京都スポーツ推進計画の課題

課題案 5. スポーツを通じた地域づくりに向けた取り組みと課題

市では、スポーツ・レクリエーションを通じた地域活動の振興のため、市民サークル等地域活動(スポーツ大会等)に対し、行事用テント、運動会用品、放送器具等の備品類を貸出ししています。平成27年度は、使用申請181件、備品数 8,191 点の利用がありました。

今後は地域に根差した新たなスポーツ振興が求められているといえます。子どもの頃からの運動好きについては、●●(アンケート結果を参照予定)●●スポーツを通じた多様な交流を促進し、地域のつながりを強化していくことが大切です。

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> 単身世帯の増加・地域のつながりの希薄化(都) | <input type="radio"/> スポーツを通じた多様な交流(★) |
| <input type="radio"/> 市民の健康づくりの取組(◆) | <input type="radio"/> …… |

(★)：新たな課題 (◆)：継続的な課題 (都)：東京都スポーツ推進計画の課題

課題案 6. 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた課題

市では2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成として、歩いて探検体験型なぞ解きイベント、ノルディックウォーキング教室、在日外国人向け着物で茶道教室や、障がい者スポーツのデモンストレーションと体験・交流イベントの実施、障がい者スポーツ支援のためスポーツボランティア講演会を開催しています。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催は、スポーツを通じて市民に夢や感動を与えるとともに、大会開催を契機として異なる文化との交流を進める絶好の機会といえます。また、スポーツボランティア等の活動促進や気運の醸成だけでなく、大会終了後も市民の運動やスポーツへの関心を高める「レガシー(遺産)」の継承も求められています。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた気運醸成(★) | |
| <input type="radio"/> 2020 年東京オリンピック・パラリンピックレガシーの継承(★) | |
| <input type="radio"/> スポーツ、文化、教育の融合(★) | <input type="radio"/> スポーツの観戦機会の提供(★) |

(★)：新たな課題 (◆)：継続的な課題 (都)：東京都スポーツ推進計画の課題

第3章 小平市のスポーツ振興の基本方針

本基本方針は小平市の第三次長期総合計画に基づき市のスポーツ振興の基本的な考え方を示すものです。長期総合計画に掲げられた将来都市像のひとつである「健康で、はつらつとしたまち」の実現に向け、第2章で整理した課題をふまえて以下の6つの基本方針を掲げます。

基本方針1. だれもがスポーツに親しめる環境の整備

体力や年齢、性別、障がいの有無に関わらず、市民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりを推進します。また、日々の生活の中で運動やスポーツの時間が取れない方や運動やスポーツが苦手な方が気軽にスポーツに親しめる環境づくりにも取り組みます。

基本方針2. スポーツ推進に関わる人財の育成

市民の運動やスポーツ活動の促進に向け、安全面・技術面だけでなく、運動やスポーツの楽しさや魅力を伝えることができる人財の育成・支援に取り組みます。

基本方針3. スポーツの場と機会の整備・充実

スポーツ施設利用の利便性や魅力の向上に取り組むとともに、学校等の体育施設の有効活用や市民が身近に運動やスポーツにふれる機会を充実する取組を推進します。

基本方針4. 情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供

市民の誰もが身近に運動やスポーツにふれるきっかけづくりに向けて、情報技術を活用してそれぞれのニーズにあった情報発信に取り組みます。また、施設利用を促進させるシステムの利便性の向上に努めます。

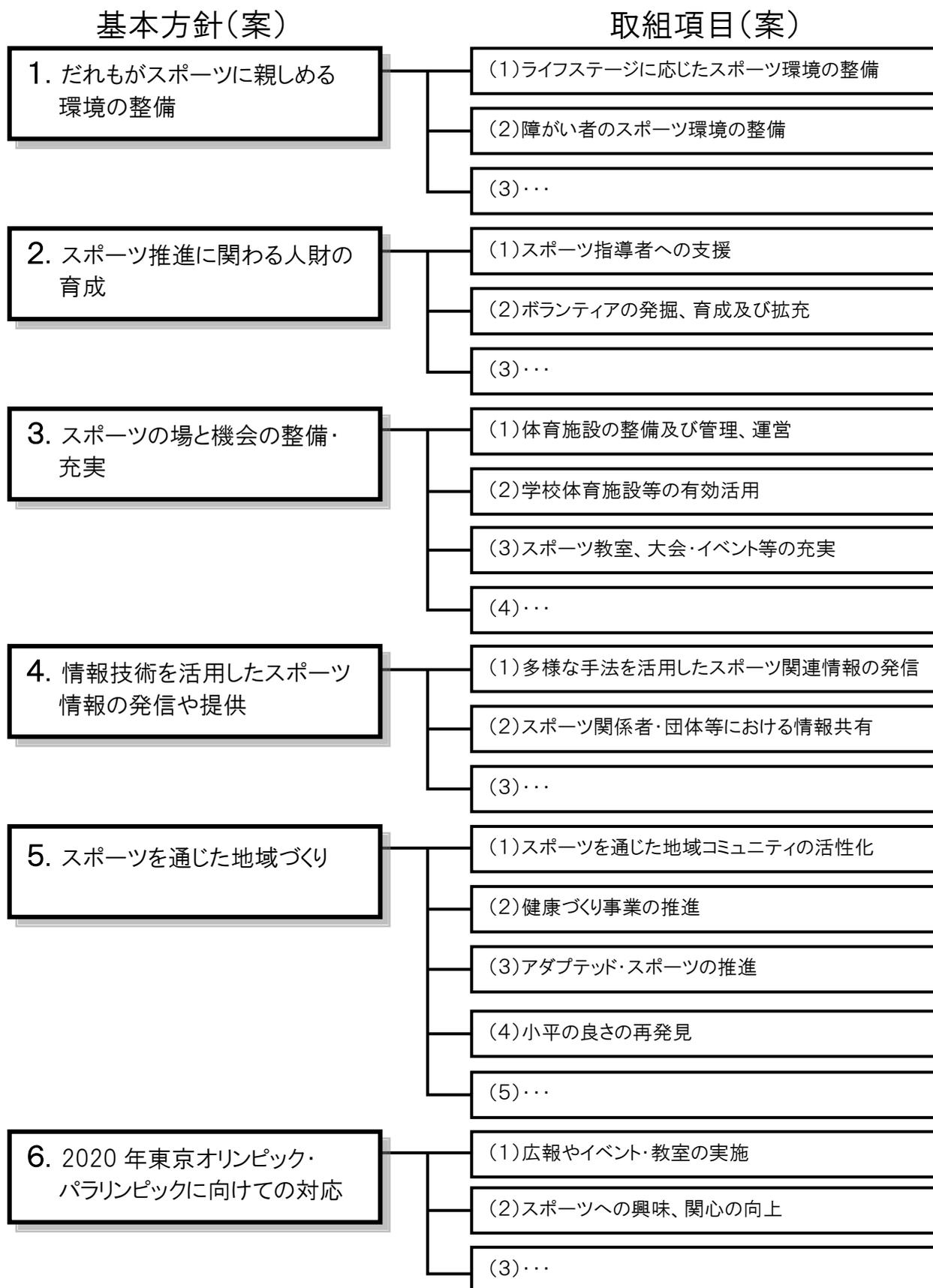
基本方針5. スポーツを通じた地域づくり

運動やスポーツを通じて年齢や性別、障がいの有無に関わらない多様な交流を推進します。また、子どもの頃から継続して運動やスポーツ活動を行える環境づくりに取り組みます。

基本方針6. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機としてスポーツボランティア等の活動促進や気運の醸成だけでなく、異なる文化との交流、大会終了後の「レガシー」の継承に取り組みます。

基本方針の体系と取組項目



基本方針 1 だれもがスポーツに親しめる環境の整備

(1) ライフステージに応じたスポーツ環境の整備

- ライフステージを通じて各種スポーツや運動機会を設けていきます。
- 市民の体力、技術、生活環境の違いに応じた多様なスポーツ環境の整備に取り組みます。
- 少年少女マラソン大会などを通じた子どもの体力向上に取り組みます。また、外遊び等を通じて子どもの頃から身体を動かす楽しさを知り、身近なところで運動やスポーツに親しむことが出来る環境の整備に取り組みます。
- 働き盛り・子育て世代などの余暇活動の時間を取りづらい世代が、生活の身近なところで運動やスポーツに取り組むことができる環境の整備に取り組みます。
- 軽い体操やウォーキングなどの運動の習慣化や介護予防事業などの健康・福祉分野と連携した取り組みを推進し、運動やスポーツを通じた生きがいづくりや仲間づくりに取り組みます。
- ジュニア選手等の競技力向上を目的にスポーツと健康をテーマとした医学、栄養、運動等の講座の開催に取り組みます。

(2) 障がい者のスポーツ環境の整備

- より多くの市民が運動、スポーツをする機会を得られるように、施設整備だけでなく指導者やボランティア等の人財・組織の育成に取り組みます。
- 障がい者の運動やスポーツの機会づくりに取り組む団体等の情報共有の場(体験・交流会、講習会等)を設け、各団体等が連携して、より身近に運動やスポーツの機会を充実していけるよう支援します。

基本方針 2 スポーツ推進に関わる人財の育成

(1) スポーツ指導者への支援

- 小平市体育協会をはじめとした地域に根ざしたスポーツ活動団体と連携・協働し、市民が運動やスポーツに親しむきっかけづくりを担う指導者への支援に取り組みます。
- 地域スポーツ振興のコーディネーターとしての役割が期待されるスポーツ推進委員が行う、事業の実施、連絡調整等の活動を支援していきます。

(2) ボランティアの発掘、育成及び拡充

- 子どもや高齢者、障がい者など市民の誰もが運動やスポーツに親しむ場を支える、意欲や幅広い知識等をもったスポーツボランティアの発掘、育成及び拡充に取り組みます。
- NPO法人日本ボランティアネットワークと連携して、スポーツボランティアの活動の場を広げていくとともに研修会を重ねてスキルアップを図ります。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、スポーツボランティアを育成、確保し、終了後も地域スポーツを支える人財として活動できるよう支援します。

基本方針 **3** スポーツの場と機会の整備・充実

(1) 体育施設の整備及び管理、運営

- 身近な環境で身体を動かすことができるよう小平グリーンロードや身近な公園、安全で快適に通行できる歩道や自転車走行空間の整備、活用に努めます。
- 平成18年度から導入した小平市公共施設予約システムについて、利用者のニーズを把握し、利便性向上に取り組みます。
- 民間体育施設の一般開放を今後も継続していくとともに、市民が運動やスポーツを行う場の整備・確保に努めます。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際交流や地域振興を図るため、事前キャンプ誘致や開催期間中の練習会場とするための施設整備に努めます。

(2) 学校体育施設等の有効活用

- 既存の体育施設との配置バランスを考慮したうえで、地域の生涯スポーツの拠点として学校施設スポーツ開放等により、学校体育施設等の有効活用に取り組みます。
- 学校施設スポーツ開放をきっかけとして、地域での市民の交流の機会を生み出し、地域コミュニティの活性化に努めます。
- 地域センター等公共施設を利用しているサークル活動を支援します。

(3) スポーツ教室、大会・イベント等の充実

- 市民スポーツまつりや各種スポーツ教室等を充実し、市民の誰もが身近な場所で運動やスポーツを行うきっかけを提供します。
- 体育協会や公民館が実施するスポーツ教室との整合を図り、参加者が教室をきっかけに運動を継続できるように取り組みます。
- スポーツイベント等でスポーツをするだけでなく、観る機会を提供し、スポーツ観戦、応援を通じてスポーツの魅力を身近に感じるきっかけを提供します。

基本方針 4 情報技術を活用したスポーツ情報の発信や提供

(1) 多様な手法を活用したスポーツ関連情報の発信

- 地域のスポーツイベント・教室等の情報を、市報こだいら、市ホームページ、体育協会ホームページ、募集ちらし及び体協だより等の多様な手法を活用して市民のニーズに合わせて発信していきます。
- FC東京や市内、近隣の大学などのスポーツ情報の収集と市民への情報提供に取り組みます。

(2) スポーツ関係者・団体等における情報共有

- 市民の運動やスポーツに関するニーズについて、市内のスポーツ振興に関わる関係者・団体等で情報交換する場を設け、各団体が連携・協働して活動できるきっかけづくりに努めます。
- さらなるスポーツ振興及び地域活性化を目指し、観光まちづくり協会や国際交流協会と情報共有を図ります。

基本方針 5 スポーツを通じた地域づくり

(1) スポーツを通じた地域コミュニティの活性化

- 地域での運動やスポーツ活動を通じて仲間づくりや多様な市民の交流を生み出すことで、地域コミュニティの活性化に取り組みます。

(2) 健康づくり事業の推進

- 小平グリーンロードを活用した「小平グリーンロード歩こう会」をはじめとするウォーキングイベントなどの身近な運動やスポーツの機会を積極的にPR、市民の生活に身近な場所での健康づくりに取り組みます。
- 健康づくりに役立つイベント・教室等を開催し、市民の生活に身近なところで運動やスポーツのきっかけづくりに取り組むとともに、市民の交流やいきがいつくりにつなげていきます。
- 介護予防や認知症予防事業において、ウォーキングの機会を設けていきます。

(3) アダプテッド・スポーツの推進

- 障がい者だけでなく、就学前の子どもや高齢者、様々な人がスポーツの楽しさを享受できるアダプテッド・スポーツの推進に取り組みます。ルールや用具、技術を工夫し、新たな市民の運動やスポーツを通じた交流を生み出します。

(4) 小平の良さの再発見

- 様々なスポーツ団体等が積極的に活動することで市民が身近な場所で運動やスポーツに取り組むことができる「小平の良さ」を再確認するための情報発信に取り組みます。
- FC東京といったトップレベルのアスリートと交流できる点だけでなく、市民が身近な場所で運動やスポーツに取り組むことができる「小平の良さ」を実感できるイベント等に取り組みます。
- 市内の魅力となるスポットを回遊するイベントを通じて、楽しく学びながら身近な地域「こだいら」の魅力を発見し、ふれあう機会をつくることで、まちへの愛着を育みつつ、地域活性化を目指します。
- 身近な環境で身体を動かすことができるよう小平グリーンロードや身近な公園、安全で快適に通行できる歩道や自転車走行空間の整備、活用に努めます。(再掲)

基本方針 6 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応

(1) 広報やイベント・教室の実施

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、運動やスポーツだけでなく、異なる文化への関心を高める広報やイベント・教室に取り組みます。
- パラリンピック競技種目の紹介や障がい者スポーツの普及促進に取り組み、市民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりにつなげていきます。
- 国際スポーツ大会や全国大会に出場する小平市にゆかりのある選手の壮行会、報告会の開催や市報等で紹介するなど、身近なアスリートの活躍を応援します。

(2) スポーツへの興味、関心の向上

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、市民の運動やスポーツへの関心が高まることから、各種大会の開催を通じたスポーツの普及や健康づくりへの意識の高揚を図り、体力・運動能力の向上に繋げていきます
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際交流や地域振興を図るため、事前キャンプ誘致や開催期間中の練習会場とするための施設整備に努めます。(再掲)
- 障がい者スポーツの普及啓発活動により、障がい者の理解促進や障がい者スポーツ振興を図り、障がい者の社会参加の拡大に繋げていきます。
- オリンピック・パラリンピックの素晴らしさを実感することができるように学校や地域スポーツ団体等にオリンピック・パラリンピアン等のトップアスリートを招へいし、直接交流することで、スポーツへの参加意欲の向上やスポーツ観戦へのきっかけづくりに取り組みます。
- 児童、生徒が夢や希望を持ち続けることにつながる大会となるよう、学校、教育委員会と連携してオリンピック教育に取り組みます。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを観戦し、感動にふれることはスポーツへの関心や意欲に大きな影響をもたらすと期待できることから、子どもたちの競技の観戦を支援します。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、スポーツボランティアを育成、確保し、終了後も地域スポーツを支える人財として活動できるよう支援します。(再掲)

第4章 基本方針の推進にあたって

1. 推進体制

リード文

(1) 市民の役割

例)自治会、商店会、NPO 法人

(2) スポーツ関係団体等の役割

例)体育協会、スポーツ推進委員、スポーツボランティア、大学

(3) 民間事業者の役割

例)民間スポーツ施設、FC 東京

(4) 小平市の役割

市民が主体的に行うスポーツや健康づくり活動とそれらを支援する人財の育成やボランティア制度のしくみ、関係団体や NPO 等との連携・協働などのスポーツ振興施策を推進します。

市民スポーツ活動で培われてきた人財や組織力を活かすためのネットワークづくりやスポーツに関する情報の共有化を図り、多世代間の交流など、多くの市民が参加し、地域に根差した新たなスポーツ振興の仕組みづくりを目指します。

また、市民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりを支える体育施設の整備を行うとともに、既存の体育施設の効率的な管理、運営や今後の体育施設のあり方を検討します。

参考資料

1. 方針策定の経緯

(1) 委員名簿

	区 分	氏 名	所 属
1	識見を有する者	中村 平	東京女子体育大学体育学部 教授
2		澁谷 茂樹	公益財団法人 笹川スポーツ財団
3	障がい者スポーツ関係者	高山 浩久	公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
4		小倉 悟	小平市社会福祉協議会
5	学校教育関係者	山田 正樹	小平第十小学校 学校長
6		星野 実	小平第二中学校 学校長
7	社会教育関係者 (スポーツ活動)	荒武 宗昭	一般社団法人 小平市体育協会
8		尾崎 信幸	スポーツ推進委員
9	公募市民	阿部 仁	
10		後調 正則	
11		佐藤 恵子	
12		椎名 久美子	
13		夏秋 利恵	
14		渡辺 仁	

(2) 策定経過

2. アンケート調査概要

(1) 調査の名称

小平市民のスポーツに関するアンケート

(2) 調査の目的

本調査は、市民の運動やスポーツに対する実態の把握やこれからのスポーツ推進に対するご意見をうかがい、今年度策定する「小平市のスポーツ振興の基本方針」の基礎資料とすることを目的として実施した。

(3) 調査項目

- ①あなたご自身について
- ②スポーツの実施について
- ③スポーツに関する情報提供について
- ④スポーツに関するボランティアについて
- ⑤障がい者スポーツの認知度について
- ⑥市のスポーツ推進について
- ⑦2020年オリンピック・パラリンピック競技大会について
- ⑧自由意見

(4) 調査の設計

- ①調査地域 小平市全域
- ②調査対象 小平市在住の満18歳以上の男女
- ③調査対象数 2,000人
- ④対象者の抽出方法 平成28年7月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出
- ⑤調査方法 郵送法(郵送配布・郵送回収)
- ⑥調査期間 平成28年7月7日(木)～7月22日(金)

(5) 回収率

発送数 2,000件 回収数 ●●件 回収率 ●●%